

地域交流イベントで自衛隊の活動を発信

自衛隊静岡地方協力本部三島募集案内所（所長・高木淳規3等海佐）は4月6日（日）、株式会社フカサワ駐車場（駿東郡長泉町）で開催された、ながいすみ&すの交流イベント「サクラサクマツリ」に参加し、広報活動を行った。

このイベントは、地域住民の交流を目的に桜の見頃に合わせ行われているもの。フードコートやステージイベントなどが開催され、あいにくの雨にも関わらず多くの来場者で賑わった。

三島所は隊友会長泉支部とともに、能登半島地震の災害派遣活動写真パネルの展示、自衛官採用制度説明、迷彩服試着体験を行い、陸上自衛隊第34普通科連隊（御殿場市）は、陸自の救急車、軽装甲機動車、偵察用オートバイを展示して広報活動に努めた。

ブースを訪れた家族連れは、迷彩服を試着したりパネルや車両を見学したりして自衛隊の活動への理解を深め、「自衛隊のことをもっと知りたい」と隊員に話しかけていた。

三島所は、引き続き地域の協力団体と連携し、防災知識や自衛隊の活動を発信していく。



エスパルス公式戦で自衛隊コラボデー 1万6千人にPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は4月20日（日）、Jリーグ清水エスパルス対アビスパ福岡戦で広報活動を行った。

この日は1万6000人を超えるサポーターが詰めかけ、会場は試合開始前から熱気に包まれた。静岡地本は陸自第34普通科連隊（御殿場市）とともに会場駐車場に広報ブースを開設し、軽装甲機動車などの陸自車両展示、災害派遣パネル展示、迷彩服試着体験、南極の氷体験、子ども向けカプセルトイなどを行った。

また、エスパルスが自衛隊コラボ企画として、陸海空の迷彩服を着た選手3人の巨大パネルの設置や限定ポストカード配布を行い、サポーターは迷彩服を試着してパネルと一緒に写真を撮るなど、この日しかできない体験を満喫していた。

試合開始前には、空自第11飛行教育団（焼津市）のT-7初等練習機2機がスタジアム上空を展示飛行した。スタジアムの巨大スクリーンでは自衛隊紹介動画を流し、アナウンスでも自衛隊をPRした。

ハーフタイムには、ピッチに静岡地本マスコットキャラクター「しずぽん」と自衛官が登場。手を振ったり、エスパルスのキャラクター「パルちゃん」と一緒に写真撮影に応えたりして、観客席にアピールした。

静岡地本は、今後もスポーツイベントなどで広報活動を行い、幅広い人々に自衛隊を知ってもらうよう努めていく。

